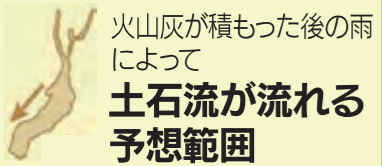
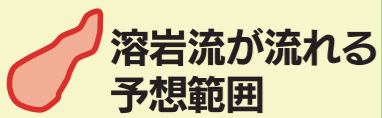
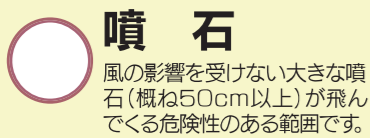
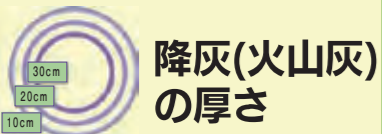


火山防災マップ(鶴見岳が噴火した場合)

記号の色と意味

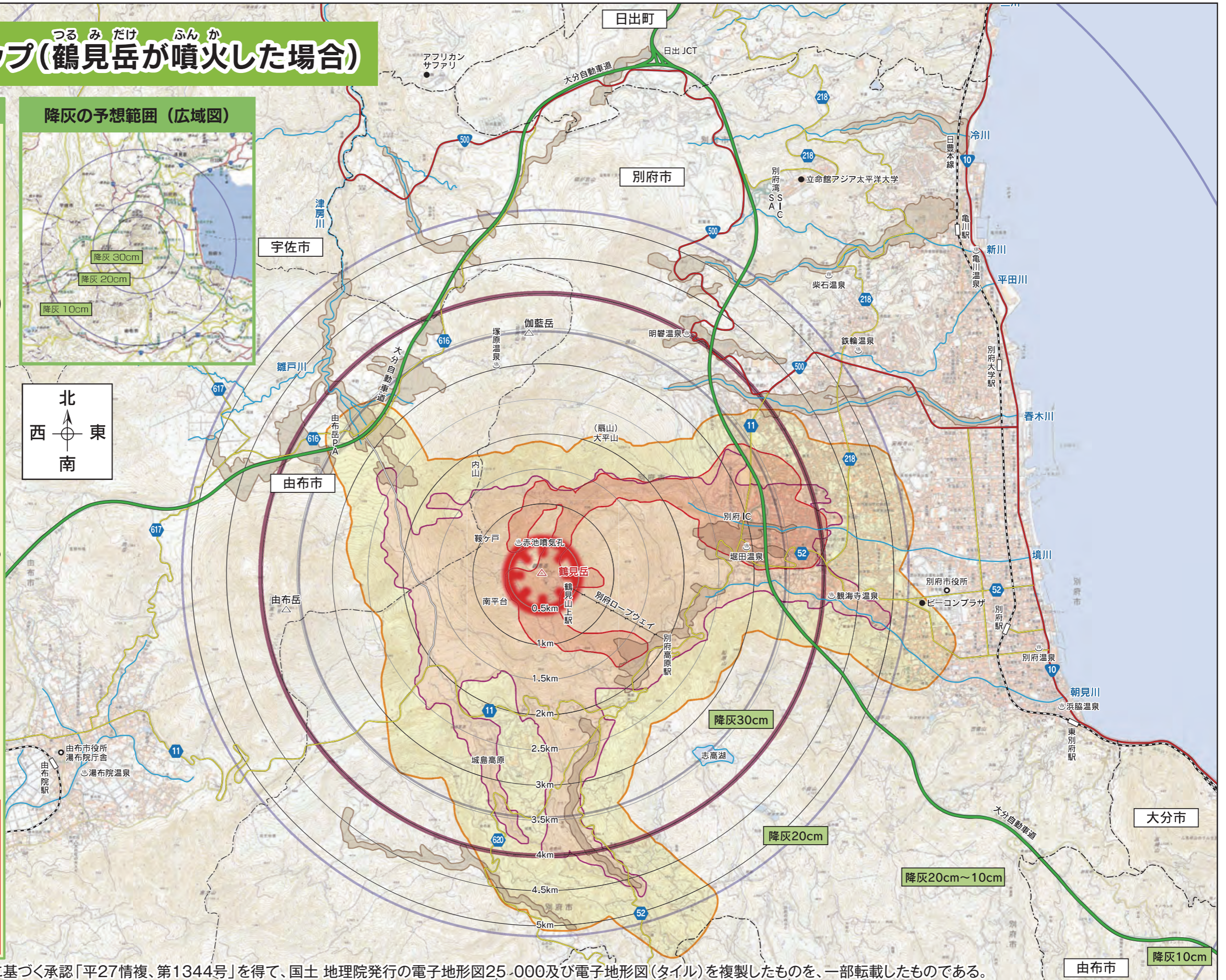


火山灰が積もった後、**2年に1回発生する程度の強い雨が降った場合**に発生する土石流が流れる予想範囲です。
川沿いの低い場所を流れます。土石流は、火山噴火が終わってからも数年間発生しやすい状態が続くことがあります。

! 実際の雨の強さや上流部の降灰状況などによっては、このマップに示した範囲以外の場所でも土石流が流れることがあります。

降灰が原因で土石流の危険性が高まった場合、国土交通省が土砂災害防止法に基づく緊急調査を実施し、その結果はホームページ等で公表されますので、火山噴火が発生した場合は、最新の情報を確認してください。

降灰の予想範囲(広域図)



この地図は、測量法第29条に基づく承認「平27情複、第1344号」を得て、国土 地理院発行の電子地形図25-000及び電子地形図(タイル)を複製したものを、一部転載したものである。